

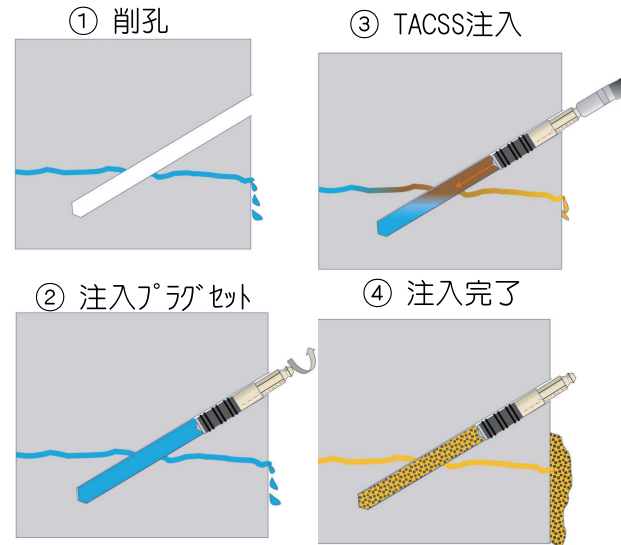
コンクリート構造物の漏水・止水対策

『TACSS工法』

TACSS工法は、ボックスカルバート等のコンクリート構造物の「漏水部止水工法」です。

水が流れている状態でも止水ができ、止水後は水圧が高くなっても漏水が再発しにくいです。

日本水道協会水質基準を満足したウレタンポリマーが、長期に渡る止水効果を発揮します。



工法の特徴

- 1 漏水の原因となる構造物のひび割れに薬液が浸透し、水と反応し止水
- 2 ひび割れの表面部分だけでなく、ひび割れ全体の空隙を完全に閉塞
- 3 ウレタンポリマーが長期に渡る止水効果を発揮
- 4 水質試験（JWWAK-135）に適合

※注. コンクリートが湿らないような完全止水は出来ません。



施工手順

① 漏水状況



② 削孔・注入プラグ設置



③ TACSS注入



④ 止水完了



日本TACSS協会



丸栄コンクリート工業株式会社